

新中期経営計画（2022年4月～2025年3月）

当金庫は2022年度からの3か年を100周年に向けた基盤作りの期間とするため、新中期経営計画を策定しました。

I 計画の名称

『4つのC』プロジェクト 2024
～企業価値の向上に向けて～

II 経営の基本方針

1. **お客さまのお役に立ちます**
地域金融機関として、地元産業の発展と市民の福利のために奉仕する。
2. **地元と共に歩みます**
金庫は、地元の発展・会員の繁栄とともに成長し、成長とともに寄与を大にする。
3. **みんなで明るく楽しい職場をつくります**
役職員協力一致して、健全な自主経営を行い、働き甲斐のある明るい職場をつくる。

III ビジョン（100周年に向けて目指す姿）

経営6カ条に則り、私たち神戸信用金庫は、**お客さま**（Customers）・**地域**（Community）にとってなくてはならない存在を目指し、複雑で不確実な時代であっても、自らを**変革**（Change）していくことで、伝統と先進性を兼ね備えた100年企業に向けて**挑戦**（Challenge）し続けます。

経営6カ条

第1条 お客さま・地域に対する姿勢

私たちとお客さま、そして地域は、信頼で結ばれたパートナーです。
情熱と誠実をモットーに信頼を勝ち得て、一步一步着実に貢献していきます。

第2条 職員同士の人間関係

私たち職員同士は、ファミリーです。
常に愛情を持って仲間に向き合い、「我が金庫」と心から思える職場を築きます。

第3条 経営に対する考え方

私たちは、「律と義」を重んじる金庫の一員です。
守るべきは守り、変えるべきは変え、何事にもスピード感を持って果敢にチャレンジします。

第4条 心の幸せの追求

私たちは、自立した個々人の集まりです。
強い信念と意志に基づいて人に尽くし、そのことで自分と自身も幸せになります。

第5条 物質的な幸せの追求

私たちは、誇り高い信用金庫人です。
公明正大に事業を進め、適切な利益を得ることで、私たち自身の豊かな暮らしを実現します。

第6条 お客さま（地域）、神戸信用金庫、職員の調和

私たちは、お客さまと金庫、自分たち職員が満足する「三方良し」の担い手です。
三者の調和と発展をもたらす素晴らしい仕事を為し遂げます。



IV 行動指針

“伝統と先進性を兼ね備えた100年企業となることを目指し、「4つのC」を意識した取組みへの挑戦や自らの変革を継続することで、企業価値の向上を図ります。”

V 基本戦略・主要施策

1. お客さま・地域戦略

- (1) 「持ち顧客」のメイン化
- (2) 伴走型の営業推進態勢の強化
- (3) お客さまのCX（体験価値）向上
- (4) 情報量の増加と質の向上
- (5) 新たなお客さまの獲得

2. 店舗・チャネル戦略

- (1) 店舗網の全面的な見直し
- (2) ICT（情報通信技術）を活用したお客さまの満足度の向上

3. 収益戦略

- (1) 営業店評価基準・収益目標の見直しと定着
- (2) 中小企業向け融資および個人ローンへの積極的取組み
- (3) 将来の金利上昇を見据えた余資運用
- (4) 中長期的な収益シミュレーションの実施定例化

4. IT・事務戦略

- (1) システム化推進による生産性の向上
- (2) 顧客情報を営業戦略に活用する仕組み構築
- (3) 事務効率化の推進
- (4) DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応

5. 人材戦略

- (1) 組織活性化、職員の働きがい向上に向けた取組み
- (2) 人材の採用強化
- (3) 職員の早期戦力化、レベルアップを図る研修の充実
- (4) 「経営6カ条」に基づく行動のさらなる定着

6. SDGs推進・神戸信金ブランド戦略

- (1) SDGs宣言を意識した行動
- (2) ESG（環境、社会、企業統治）投資の取組み
- (3) 神戸信金のブランド価値を高める仕組み

7. リスク管理戦略

- (1) 融資実行時の資金使途や回収可能性検証の強化
- (2) 信用リスク管理データの収集、蓄積、分析
- (3) 運用資産の多様化に対応した管理強化
- (4) 海外資産増加に対応した海外経済動向の把握

8. 経営管理戦略

- (1) 法令等遵守態勢の強化
- (2) マネー・ローンダリング及びテロ資金供与リスク管理の高度化
- (3) サイバーセキュリティ管理態勢の強化